

企業会計の各決算をはじめ、平成24年度一般会計・正などの議案を各常任委員会で審査しました。

■建設経済委員会

●一般会計補正予算（第2号） －旧クリーンセンター解体事業－

Q 解体時のダイオキシン飛散防止をどのように行うのか。

A 旧クリーンセンターの解体事業におけるダイオキシン飛散対策として、周囲を密閉して、外に有害物質が飛散しないような対策を行う。また、解体前・解体中・解体後において、周辺のダイオキシンを調査し、建物内からの飛散がないか調査も行う。

●平成23年度水道事業会計決算認定 －石綿管改良事業－

Q 袋井市全域で、石綿管改良事業の残りはどの程度か。

A 石綿管改良事業は、最後の計画を平成13年度から実施し、全体で18,742メートルほど整備をしている。平成24年度に310メートルを施工することで、旧袋井市、旧浅羽町の石綿管はすべてなくなる。今後、震災対策の観点も踏まえて、整理・総括をしていきたい。



解体を進めていく旧クリーンセンター

特別委員会報告

各特別委員会で審議された案件及びそれに対する質疑のうち、主なものについて報告します。

防災対策特別委員会（7/23、9/25）

南海トラフの巨大地震に関する想定を発表がありました。

最大津波高（10メートル）や、津波到達時間（18分）、浸水面積（1.7平方キロメートル）、最大震度（7）といった内容が内閣府から発表されたと報告がありました。

Q この発表を受けて、現在の津波対策の見直しをどう考えるか。

A 防潮堤や砂丘の信頼性、河川の遡上などについて、さらに検討を加えなければいけない。今現在は、引き続き津波避難タワー及び命山の整備を進めていく。

議会改革特別委員会（7/24、8/2、8/28、9/25）

前年度、議会改革研究会から提出された提言書の取り組みについて、議論を重ねた中で、意見をまとめています。

（議論された内容）

- ①地方自治法に規定する議決事件の追加について
- ②正副議長及び委員長・委員の任期について
- ③議員間討議の場を設けることについて
- ④海外研修のルール化について
- ⑤一問一答方針の導入について
- ⑥代表質問の導入について

地域医療・新病院特別委員会（7/31、8/20）

現市民病院の医療継続に係る協議状況が報告されました。

袋井市総合健康センターの医療分野の運営について、社会福祉法人聖隷福祉事業団との協議を行い、7つの基本方針に基づき、覚え書きの締結がされたとの報告がありました。今後は、役割分担を明確にする協定書締結の協議、西館増築・改修工事の着手、受水槽工事及び道路整備工事などが予定されています。

Q 進入路兼工事車両道路を整備するとあるが、建設予定の南側道路からの進入路を正面玄関とするイメージになるのか。

A 現在の東からの進入路と新たな南側からの進入路のどちらを正門にするという訳ではなく、両方から進入できるという考え方で活用したい。